

平成22年度 下田市の 決算

市民の皆さんに市の財政状況を知っていただくため、毎年6月と12月に財政事情の公表を行っています。皆さんの税金や国、県からの交付金がどのように使われているかをあわせて、下田市の家計簿とよべるものです。

今回は、平成22年度決算と平成23年度上期の予算執行状況についてお知らせします。

一般会計

平成22年度においては、歳出決算は約94億円と対前年1・4%増となりましたが、歳入決算で約98億円確保できたため、繰越金が約4億円、実質単年度収支でも約3億円の黒字となりました。

環境整備として、「須崎・白浜漁港水産基盤整備工事」や、「リサイクル推進のため「ペットボトル圧縮機」を購入し、消防団ポンプ自動車、小型ポンプ等の購入も行いました。

教育面では、住民生活に光をそそぐ交付金を活用し、小・中学校の図書室、市立図書館の図書整備を行い、保育所、幼稚園、小・中学校に特別支援員を増員しました。

福祉施策の面では、子ども手当、子ども医療費助成を充実し、民間保育所施設整備のための補助金を支出しました。

経済・観光施策として「住宅リフォーム」や「プレミアム付商品券発行事業」を助成し、また「旧澤村邸整備事業」を実施しました。

健全化判断比率

財政の健全化が必要かどうかを判断する新たな指標を整備し、公表することで、比率が悪化した団体に早期に財政の健全化を促すための法律「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行され、平成19年度決算から4つの健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）と資金不足比率を算定し、公表しています。

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
下田市	-	-	13.8	90.4
早期健全化基準 (下田市の場合)	14.33	19.33	25.0	350.0

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は黒字のため、「-」で表示しています。

【用語解説】

■実質赤字比率…一般会計等の実質赤字の標準財政規模に対する割合

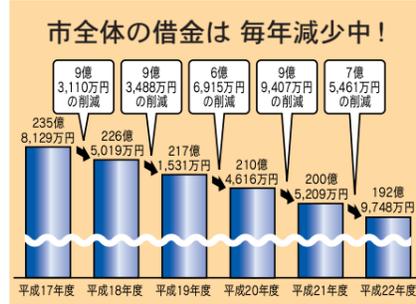
■連結実質赤字比率…全会計を合算した実質赤字額の標準財政規模に対する割合

■実質公債費比率…公債費および法令により準ずる公債費が標準財政規模に占める割合

■将来負担比率…一般会計等が将来的に負担すべき実質的な負債額の標準財政規模（標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模）に対する割合

■資金不足比率…公営企業ごとの資金不足額の事業の規模に対する割合

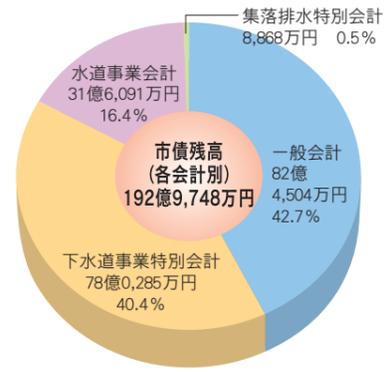
※下田市では、対象となる水道事業会計、下水道事業特別会計、集落排水事業特別会計に資金不足額はないため、算定されません。



1人あたり 77万5,591円
(前年比-1万9,370円)

1世帯あたり 168万3,458円
(前年比-6万3,088円)

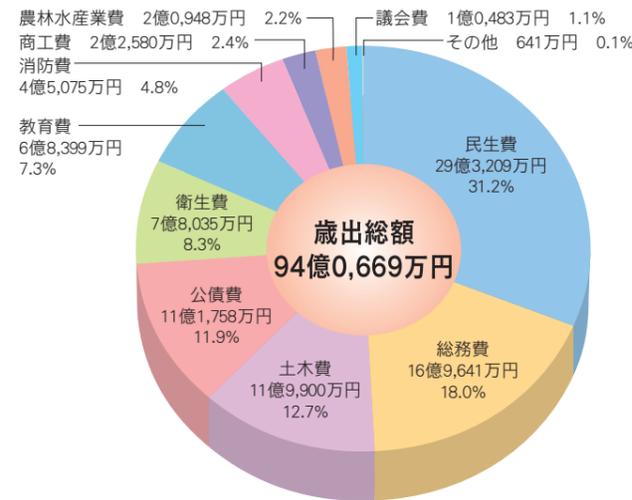
平成22年度末の全会計（水道、下水道）市債残高を200億円以下にすることを目標に取り組んできましたが、約193億円となり、目標を達成することができませんでした。



市債の状況

一般会計における平成22年度の市債借入額は、6億0,450万円で、主に臨時財政対策債、須崎・白浜漁港水産基盤整備事業、消防団ポンプ自動車等の整備や旧澤村邸整備事業などで借入され、前年比で8,110万円、15.5%の増となっています。

平成22年度一般会計の決算状況



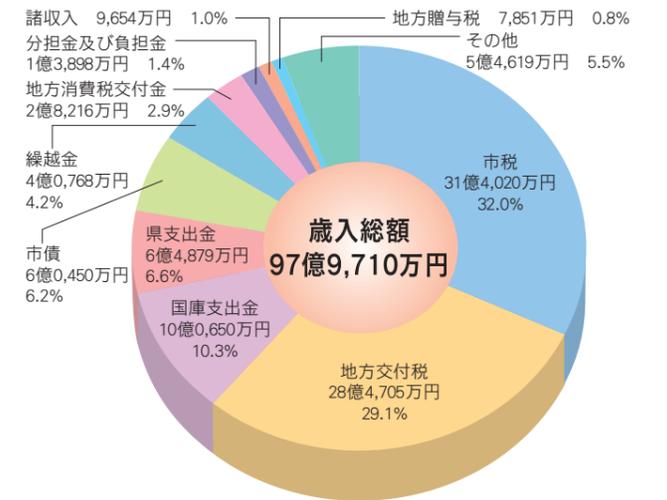
人口と世帯数・市有財産の状況

人口と世帯数		市有財産	
人口	24,881人 (男 11,999人) (女 12,882人)	土地	3,891,639㎡
世帯	11,463世帯	建物	88,068㎡
		有価証券	220万円
		出資による権利	8億5,171万円
		基金	12億1,476万円

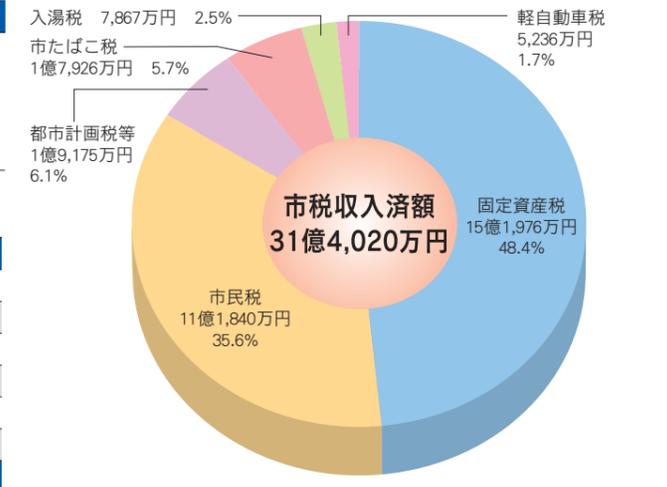
【平成23年3月31日現在】

市税の負担状況

市税項目	1人あたり	1世帯あたり
市民税	4万4,950円	9万7,566円
固定資産税	6万1,081円	13万2,579円
軽自動車税	2,104円	4,568円
市たばこ税	7,204円	1万5,638円
入湯税	3,162円	6,863円
都市計画税等	7,708円	1万6,729円
合計	12万6,209円	27万3,943円



平成22年度市税収入の内訳



特別会計名	予算額	収入済額	支出済額
稲梓財産区特別会計	149万円	154万円	66万円
下田駅前広場整備事業特別会計	1,190万円	1,186万円	969万円
公共用地取得特別会計	1億1,452万円	1億1,451万円	1億1,451万円
国民健康保険事業特別会計	34億0,509万円	34億4,056万円	33億5,561万円
老人保健特別会計	530万円	261万円	261万円
介護保険特別会計	19億2,445万円	19億0,131万円	18億8,638万円
後期高齢者医療特別会計	2億9,326万円	2億9,022万円	2億8,658万円
集落排水事業特別会計	1,574万円	1,553万円	1,493万円
下水道事業特別会計	12億4,089万円	12億4,394万円	12億2,376万円

特別会計

収益的収支			
項目	収入済額	項目	支出済額
収入合計	7億0,174万円	支出合計	5億9,778万円
営業収益	6億9,618万円	営業費用	4億7,748万円
営業外収益	528万円	営業外費用	1億1,557万円
特別利益	28万円	特別損失	473万円

平成22年度下田市下水道事業会計は、1億0,396万円の黒字となりました。

資本的収支			
項目	収入済額	項目	支出済額
収入合計	1億6,238万円	支出合計	4億5,520万円
企業債	1億5,600万円	建設改良費	2億7,813万円
出資金	0円	企業債償還金	1億7,007万円
負担金・その他	638万円	その他	0円

収入が不足する2億9,282万円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,240万円、当年度損益勘定留保資金2億2,241万円、減債積立金5,801万円で補てんしました。

水道事業会計